

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587038901	科目番号 / Subject code	05870389
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12511_005		
授業科目名 / Subject	芸術と文化 (ことばの世界) / World of Words		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	松元浩一 (ファシリテーター) kmat_nagasaki-u.ac.jp 中村典生 nakn_nagasaki-u.ac.jp 倉田伸 shin1222kurata_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Laboratory	松元浩一 教育学部本館6階 617号室 中村典生 教育学部本館5階 515号室 倉田伸 教育学部本館5階 509号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00?12:50、14:20?14:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語や日本語を初めとする「ことば」を題材にし、インターネットやロボット等と人が共存する情 報化社会を作り出すプログラミング言語も題材にしながら、現代に生きる人間の諸活動の問題をこ とばと情報の観点から考察する。 社会を取り巻く環境の大きな変化により「ことば」の教育、とりわけ外国語の教育が大きく変わろ うとしている。手紙や電話とは異なり、スマホやICT機器等の発達により、「ことば」の伝達方法や コミュニケーションの様態も劇的に変化している。こうしたなかで、日本語や英語によるコミュ ニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけ、学べばよいかを 日本における今日の教育とも関連づけて考察する。また、長崎は16世紀から外国語を取り入れる窓 口となって日常的に外来の言葉と融和してきた。「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自 ら表現し他者に働きかけ、他者と係る力を身につけたのかを可能な限り探りたい。		
授業到達目標/Goal	(1) 自らが受けてきた「ことば」の教育を振り返り、省察し、発表することができる(????)。 (2) 日本における「ことば」の教育や外国語教育の方向性を理解したうえで、日本語や英語による コミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけるとよ いかを批判的に、自律的に表現できる(???,???)。 (3) 古くから長崎の先人が接してきた外来語との関わりをもとに、日本語や外国語によるコミュ ニケーションの在り方に新たな視点を見つけ出すことができる(?????12)。 (4) 情報化社会に対応した表現方法で、プログラミング言語等を用いて、これまでに学んだ長崎の 文化を発信することができる(??12)。		
授業方法 (学習指導法) /Method	座学で基盤的な知識を学ぶことと並行して、調べ学習により自らの考えを発表し、「ことば」とコ ミュニケーションについて学ぶ。座学では、知識の定着を確認するのに小テストを適宜取り入る。 また、ペアやグループによるディスカッションや意見交換も設け、主体的に考えることを求める。 調べ学習では、図書館等で長崎やその周辺について記した文献を調査し、外来語との関わりを自ら 調べ発表してもらう。		
授業内容/Class outline/Con	・ 1回目?5回目 : 松元担当 前半では、座学で日本語と英語の特性について基本的な知識を学び小テストを行う。後半では、長 崎の歴史と英語との関りについて、ペアやグループによるディスカッションや意見交換を通じて考 察する。最後に、コミュニケーションの在り方等に関するショートエッセイを課す。 ・ 6回目?10回目 : 倉田担当 これまでに学んだ長崎の文化を、インターネットを用いて発信できるようになるために、マークア ップ言語やプログラミング言語の「ことば」の基本を学び、それらを用いてWebコンテンツを作る。 最後に、作ったWebコンテンツを相互評価し、様々な表現方法を知ることに加え、客観的に自己の表 現について省察する。 ・ 11回目?15回目 : 中村担当 第1回から第10回までの内容を念頭において、自らが受けてきた日本語や英語の教育も振り返りなが ら、歴史的に「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、日常 的に外来の言葉と融和してきたかを調べ、それをもとにグループごとに意見交換を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習、復習として、授業ごとに調べ学習等の課題が提示されるので指示に従って準備するこ と(LACSによる課題提示等も行われる予定です。詳細は授業時にお知らせします。)		
キーワード/Key word	日・英語、外国語活動、ICT機器活用、マークアップ言語、プログラミング言語、長崎県		

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時に、予め準備した資料を提示したり、必要なものを準備するよう適宜指示する。
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ・課題小テスト(25%) ・ショートエッセイ(25%) ・授業への積極的な関わり(課題を含む)(25%) ・課題レポート(25%)
受講要件(履修条件)/Requirements	
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
1回目?5回目	松元担当。前半では、座学で日本語と英語の特性について基本的な知識を学び小テストを行う。後半では、長崎の歴史と英語との関りについて、ペアやグループによるディスカッションや意見交換を通じて考察する。最後に、コミュニケーションの在り方等に関しショートエッセイを課す。
6回目?10回目	倉田担当。これまでに学んだ長崎の文化を、インターネットを用いて発信できるようになるために、マークアップ言語やプログラミング言語の「ことば」の基本を学び、それらを用いてWebコンテンツを作る。最後に作ったWebコンテンツを相互評価し、様々な表現方法を知ることに加え、客観的に自己の表現について省察する。
11回目?15回目	中村担当。第1回から第10回までの内容を念頭において、自らが受けてきた日本語や英語の教育も振り返りながら、歴史的に「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、日常的に外来の言葉と融和してきたかを調べ、それをもとにグループごとに意見交換を行う。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/23		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587040501	科目番号 / Subject code	05870405
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12551_005		
授業科目名 / Subject	芸術と文化 (音楽) / Music		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宮下 茂 / Miyashita Shigeru, 松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyamo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 音楽棟2F 204		
担当教員TEL/Tel	819-2345		
担当教員オフィスアワー/Office hours	研究室前掲示参照		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	モジュール?で修得した芸術の理解・表現方法に加え、音楽分野に関心のある学生に対し、声楽曲の鑑賞と実技により、深い知識や研究態度を身につけることを目的とする。		
授業到達目標/Goal	モジュール?で身につけた、芸術の理解・表現を深めること。声楽独唱ができること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	声楽曲及びオペラ作品に関する講義と鑑賞、問答、声楽実技に関する講義、実技 (歌唱) を行う。声楽実技では、実践的に歌唱法を学び、斉唱のほか独唱を行うこともある。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画を参照。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	声楽、歌曲、オペラ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業計画に沿い、資料を配布する。音楽の視聴はCD、DVD、生演奏 (歌唱とピアノ伴奏) を活用する。 参考: 歌唱芸術 (白水社)、ドイツ歌曲の歴史 (音楽之友社)、3日でわかるクラシック音楽 (ダイヤモンド社)、もう一度学びたいオペラ (西東社)、絶対! うまくなる合唱100のコツ (ヤマハミュージックメディア)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各回提出の授業レポート (全15回) の評価 (50%)、歌唱 (独唱) の実技試験 (50%) (授業への取り組みにより、授業レポートのみの評価となることもある)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	教室の座席定員 (音楽棟1番教室) が36名のため、最大受講者数を36名とする。定員を超えた場合は、Nu-Webでの電子抽選を使用し、教養教育掲示板に結果を公表する。(指導教員への直談判無効)		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではクラシック音楽を取り上げます。歌唱芸術への興味と関心が持てること、自分にとっての未知なる音楽を受け入れる柔らかな心を持って受講することを希望します。声楽実践では、一人で人前で独唱する心構えが必要かと思われます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	導入		
第2回	春の歌		
第3回	歌曲の歴史??導入?日本の歌曲 (西洋音楽) の歴史?		
第4回	歌曲の歴史??日本の歌曲 (西洋音楽) の歴史?		
第5回	詩と音楽の出会い??ドイツ歌曲の歴史		
第6回	ホール体験1 / 歌唱法入門 (発声の理論と実践)		

第7回	歌、歌曲、オペラ、声楽…声楽ジャンルについて1
第8回	歌、歌曲、オペラ、声楽…声楽ジャンルについて2?オペラ体験
第9回	実践 / 「野ばら」の歌唱
第10回	ホール体験2 / 歌唱法入門 (発声の理論と実践)
第11回	詩と音楽の出会い??歌曲の手法1
第12回	詩と音楽の出会い??歌曲の手法2
第13回	詩と音楽の出会い??歌曲の手法3
第14回	詩と音楽の出会い??歌曲の手法4
第15回	授業のまとめ / 音楽から見た「世界の言葉」と「学べる喜び」
第16回	歌唱実技試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587040901	科目番号 / Subject code	05870409
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12561_005		
授業科目名 / Subject	芸術と文化 (美術) / Fine Art		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	針貝 綾 / Harikai Aya, 松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	針貝 綾 / Harikai Aya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	針貝 綾 / Harikai Aya		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館4F第41講義室 / Room 41, [教育]本館4F第43講義室 / Room 43		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aharikai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部美術棟 針貝研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本授業は美術史の入門となる授業です。古代ギリシャ・ローマからルネサンスまでの世界遺産や、 観光の目玉である彫刻や絵画等の美術作品を鑑賞しながら、それらの歴史的意義や美術的価値に ついて理解を深めます。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品を観察し、文章あるいは口頭で客観的に記述できる。 ・作品の記述に基づき、作品を分析することができる。 ・様式や表現技法、代表的な美術家、作品等について説明できる。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	この授業では、時系列に作品を鑑賞し、重要な作品については文章で記述をしてもらったり、口頭 で発表してもらったりします。その上で、モチーフの意味やストーリーを説明し、表現方法や作者 の制作意図について分析・解説を加えていきます。作品の分析の際には、不定期にグループワーク を取り入れます。また、小テストを行うこともあります。		
授業内容/Class outline/Con	第1?15回は、古代ギリシャからルネサンスまでの世界遺産や彫刻・絵画等の美術作品を鑑賞しなが ら、美術史の基礎を学びます。第16回には定期試験を実施します。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業後は、教科書を参照しながら、授業で取り上げた作品を中心に復習してください。		
キーワード/Key word	美術史、西洋、ルネサンス		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高階秀爾『西洋美術史』美術出版社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業内の作品記述、感想及び小テスト(40%)、定期試験(60%)により総合的に評価します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特にありません。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	美術館や博物館等に出かけて実作品を見るなど、美術に親しむ機会をぜひ作ってください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	古代ギリシャ美術??パルテノン神殿とその装飾		
第2回	古代ギリシャ彫刻??幾何学様式?クラシック様式		
第3回	古代ギリシャ彫刻??ヘレニズム様式		
第4回	古代ローマ美術??記念碑と肖像彫刻		
第5回	古代ローマ彫刻 中世美術		
第6回	イタリア初期ルネサンス絵画??マザッチオ《三位一体》		
第7回	イタリア初期ルネサンス絵画??フラ・アンジェリコのサン・マルコ修道院壁画		
第8回	イタリア初期ルネサンス??ボッティチェルリ《春》		

第9回	イタリア初期ルネサンス絵画??ボッティチェルリ《ヴィーナスの誕生》
第10回	イタリア盛期ルネサンス彫刻??ミケランジェロの初期作品《ピエタ》と《ダヴィデ》
第11回	イタリア盛期ルネサンス彫刻??ミケランジェロのメディチ礼拝堂彫刻
第12回	イタリア盛期ルネサンス絵画??ミケランジェロのシスティーナ礼拝堂天井画
第13回	北方ルネサンス絵画??デューラーの自画像
第14回	北方ルネサンス絵画??デューラーの銅版画《メランコリアI》
第15回	北方ルネサンス絵画??ホルバインの肖像画
第16回	試験